

眼 科

I プログラムの名称

日野市立病院 眼科初期臨床研修プログラム

II プログラムの管理・運営

日野市立病院臨床研修管理委員会が行う。

プライマリ・ケア医の養成をミニマム・リクワイアメントとする。眼科研修中に、初診チェック、眼科カンファレンスに参加し、患者アセスメント・問題解決・治療法選択を学ばせる。また、眼科研修医を対象とした教育セッションを行う。眼科に配属された研修医に対して、臨床経験3年以上の上級医が入院診療および外来診療について直接指導を行う。指導医が研修医の指導にあたり、診療計画の推進にあたる。

III プログラムの指導医

統括責任者：部長 森川 幹郎（日本眼科学会専門医）

IV 一般目標

眼科初期臨床研修の中で、一般臨床医として必要な眼科疾患、眼科救急疾患を経験し、基本的な眼科臨床能力を修得する。

V 行動目標

- 1) 患者一医師関係
 - (1) 患者の社会的側面を配慮した意思決定ができる。
 - (2) 守秘義務の徹底
- 2) チーム医療
- 3) 問題対応能力
- 4) 安全管理
- 5) 医療面接
 - (1) 患者の的確な問診ができる。
 - (2) コミュニケーションスキルの習得
- 6) 症例呈示
- 7) 診療計画
 - (1) クリニカルパスの活用
- 8) 医療の社会性
 - (1) 医療保険制度
 - (2) 社会福祉, 在宅医療
 - (3) 医の倫理
 - (4) 文書の記録, 管理について

VI 経験目標

- A 基本的な診察法
 - ・ 眼科の基本的な診察法ができ、記載できる。
 - ・ 眼科救急疾患に関して、緊急性を正しく評価できる。
- B 以下の項目について自分で検査ができる。

- ・屈折検査（視力検査，レフラクトメーター）を理解し，行うことができる。
 - ・細隙灯顕微鏡検査を理解し，行うことができる。
 - ・眼底検査（直像鏡，双眼倒像鏡）を理解し，行うことができる。
- C 以下の検査の選択・指示ができ，結果を解釈することができる。
- ・眼鏡処方
 - ・視野検査（静的量的視野検査，動的量的視野検査）
 - ・色覚検査
 - ・眼圧検査
 - ・斜視弱視検査（プリズムカバーテスト，シノプトフォア）および両眼視検査（症例があれば実施）
 - ・眼底撮影検査および蛍光眼底造影
 - ・電気生理検査（ERG，VEP，EOG）（症例があれば実施）
 - ・超音波検査
- D 以下の基本的治療行為を自らできる。
- ・点眼薬処方
 - ・点眼
 - ・眼科手術の特殊性を理解し，助手として白内障手術を経験する。
- E 経験すべき疾患
- 以下の疾患を経験し，正しい診断および治療法を理解する。
- 1) 結膜炎（感染性，アレルギー性）
 - 2) 麦粒腫，霰粒腫
 - 3) ドライアイ
 - 4) 角膜潰瘍
 - 5) 白内障
 - 6) 緑内障
 - 7) 網膜剥離
 - 8) 尿病網膜症
 - 9) 斜視
 - 10) 視神経炎ぶどう膜炎
 - 11) 網膜色素変性症
- ※7) 9) 10) 11) については，症例があれば実施。
- F 以下の件について専門家にコンサルテーションができる。
- ・ 様々な疾患の手術適応
 - ・

VII 研修スケジュール

標準的な週間スケジュール

	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
月		一般外来				テノン注射、ヤグレーザー、涙点プラグ、アルゴンレーザーなど				初診チェック	
火		一般外来 静的量的視野検査， 動的量的視野検査 斜視弱視検査				手術				初診チェック	

水		一般外来 静的量的視野検査, 動的量的視野検査 斜視弱視検査	手術	初診チェック	
木		一般外来 術前検査	眼底撮影、蛍光眼底撮影など	初診チェック	
金		一般外来	静的量的視野検査, 動的量的視野検査、斜視弱視検査	初診チェック	

VII 研修評価

EPOC オンライン評価システムに沿った評価を行う。